



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

- 国際会長主題：価値観、エクステンション、リーダーシップ Jacob Kristensen (デンマーク)
スローガン：命の川を信じよう
- アジア地域会長主題：変化をもたらそう David Lua (シンガポール)
スローガン：奮い立たせよう
- 東日本区理事主題：変化を楽しもう 板村哲也 (あずさ部・東京武蔵野多摩クラブ)
- あずさ部長主題：変わるに挑戦！ 御園生 好子 (東京サンライズクラブ)
- 甲府クラブ会長主題：過去を無駄にしないで前進する 標 克明

甲府クラブ
2021年4月会報
●今月のテーマ
LT/RBM

■今月のことば■
段取り八分
父親の口癖より 渡辺徳之 選

4月例会



◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

会長 標 克明

今年は、いつもの春より暖かい日が続いて、桜が満開を過ぎてい

ます。
相変わらずコロナ禍で甲府ワイズの4月例会もYMCA3Fの大澤英二記念ホール「ベテル」で行います。この「ベテル」、私は特に気に留めていなかったのですが、数日前 NHK のラジオ番組「高橋源一郎の飛ぶ教室」の中で北海道浦河町の「べてるの家」についての話がありました。

ここは精神障害等をかかえた当事者の地域活動拠点です。そこで暮らす当事者にとっては、生活共同体、働く場、ケアの共同体の性格を有しています。当初日高昆布を通販から始め、今ではこの地域一番の事業所となっています。病気が重くなり、生活や活動に支障が出てくることをごく普通のこととして捉えている。そしてメンバー同士で集まり、病気や生活のことについて話し合いをすることを大切にしている。地域の人たちとも話し合いをもって、病気のことでも理解してもらい、「地域のために日高昆布を売ろう」という起業の動機につながりました。

「ベテル」とは旧約聖書の故事に「一つのはしごが地の上に立っていて、その頂は天に達し、神の使いたちがそれを上り下りしている」「これは神の家である。これは天の門だ」といい、その所の名を「ベテル」と名付けた。「神の家」という意味があるそうです。

浦河町「べてるの家」のより直接的な由来はドイツのベートルという街にあります。そこの人々は障がいの有無に関わらずともに神を信じて静かに暮らしていました。第二次世界大戦中ナチスが障がいを持つ人々を皆殺しにしようとしたところ、住民は命をかけて愛する友を守りました。この街の名前をとって「べてるの家」と命名したそうです。

私たちが「ベテル」で例会を行うときは、このようなことも思いながら行いたいと思います。

富士五湖クラブが4月24日(土)に「障がい者フライングディスク大会」を催します。富士五湖の「ベートル」になるように、続けてもらいたいと思います。

日時：2021年4月13日(火) 18:30~19:45
会場：山梨YMCAグローバルコミュニティセンター
担当：地域奉仕委員会 司会：秋山仁博会員

プログラム

開会点鐘	標 克明会長
ワイズソング・ワイズの信条	
会長挨拶・ゲスト紹介	標 克明会長
今月の言葉	渡辺徳之会員
卓話 「リニア開通に伴う、甲府市の変貌」 山梨県リニア担当者 石寺課長様	
Happyバースディ&アニバーサリー	
諸報告	
閉会点鐘	標 克明会長



3月のデータ

会員数	33名(内広義会員1名)
例会出席	メン20名 出席率61% メネット3名 ゲスト2名
ニコニコBOX	6,000円

3月役員会報告

日時 2021年3月23日(火)午後6時30分～8時
 場所 山梨YMCAコミュニティセンター内
 参加者 標、渡辺、荒川、廣瀬、ピーターM、仙洞田、秋山、丹後、石川和

プログラム

- 1、開会あいさつ 標会長
- 2、報告事項
 - ・3月9日(火)3月例会:山梨YMCA内オリーブの木
 担当:会員増強委員会 司会:仙洞田会員
 出席者:メン20名 ネット3名(武田、小倉、標)
 ゲスト2名(大和田、大澤祥子)の25名。
 2月22日急逝の武田信男会員を偲ぶ会を行った。
 (仙洞田会員作成のパワーポイント、武田ネットも来場、
 会員にお礼の品持参。また、会に3万円のお礼をいただいた。)露木総主事の「山梨YMCAの今、未来」の卓話を聞いた。ニコニコBOX6000円。
 甲府ワイズメンズクラブで初めてのズーム利用の会だった。(神山会員参加)
 - ・3月6日(土) 次期クラブ会長、部役員研修会
 ズームで実施。参加者70名程。
- 3、協議事項
 - ・4月13日(火)4月例会:
 山梨YMCAグローバルコミュニティセンター3階
 担当:地域奉仕 司会:秋山会員
 卓話:「リニア__開通に伴う、県都甲府市の変貌」
 - ・4月24日(土)
 「第10回障がい者フライングディスク大会in富士北麓」
 富士五湖クラブより協力依頼あり。
 - ・5月15日(土) 5月例会
 担当:国際交流 ピーター会員検討中。
 - ・6月12～13日 第24回東日本区大会 :
 甲府21クラブ ズームで開催する予定。

次期会長・部役員研修会について

標 克明

3月6日(土)午後1時30分からWeb会議システム ZOOMとYouTube ライブで研修会が行われました。78名の ZOOMでの参加、多くの YouTube ライブの閲覧がありました。板村東日本区理事の開会点鐘、開会あいさつに続き次期役員紹介があり、研修1に入りました。東日本の現状説明が理事よりあって、大久保知宏次期東日本区理事より方針が発表されました。

主題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
 スローガン 「絆を深める時」

重点課題

- 東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。
- 一般社団法人として信用度を高め、会員増強において Change!2022 の目標を達成する。
- 一般社団法人として、対外的な情報発信力を高める。
- 新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。
- 対面にこだわらず、会員の健康を最優先とした運営を行う。
- 新たな環境に対応できるようトレーニングを行う。
- 新しい組織を検討する。
- 組織力の低下を補う新組織を構築する。
- グローバルクラブを設立する。
- 現役リーダーのユースクラブを設立する。

YMCA 報告と質疑応答があって、研修2に入りました。各委員会の事業主任が事業方針を発表され、研修3では部事業主査・部書記・会計の役割、事務手続きの説明がありました。

研修4では各部長を囲んで各部に分かれて(部ごと別部屋がつくられました)短い時間でしたが話あいがありました。

業務手続説明はこの方式でも良いと思いましたが、やはり顔を合わせての親睦がないと実感がわかない感じがしました。17時大久保次期理事の挨拶と、板村理事の開会点鐘で閉会しました。

なお、ワークブックは東日本区のホームページにアップされていますので、見ることができます。

<次期会長・部役員研修会ワークブックへの URL>

<https://www.js-east.or.jp/document/workbook/>

今後の予定

4月27日(火)	4月役員会	山梨YMCA
4月24日(土)	フライングディスク大会	富士北麓
5月8日(土)	あずさ部評議会	未定
5月11日(火)	5月例会	未定

3月例会報告

甲府ワイズメンズクラブ3月例会は3月9日(火)、山梨YMCAコミュニティセンター1階オリーブの木で行われました。この例会では甲府クラブの例会はじめてのZOOM配信を行いました。例会前の準備ははじめてのZOOM配信のため、パソコン設定と、三脚にカメラを設置し、どうにか会場の雰囲気伝えられるようにと考えました。

また、椅子を密にならないように並べ、食事無し、ペットボトルのお茶のみにし、コロナ感染症対策をしっかりと行われました。

担当は会員増強委員会、司会は仙洞田安宏会員が務めました。標会長の開会点鐘で例会がスタート。ワイズソングはコロナの影響がまた強くなってきたため、心の中で歌い、ワイズの信条は司会の朗読のみとなりました。

その後、2月22日にこの世とお別れをした武田信男ワイズを偲ぶ会として、仙洞田会員が作成してくれた思い出の写真を見ながら、武田ワイズの多くの活躍を心に刻みました。

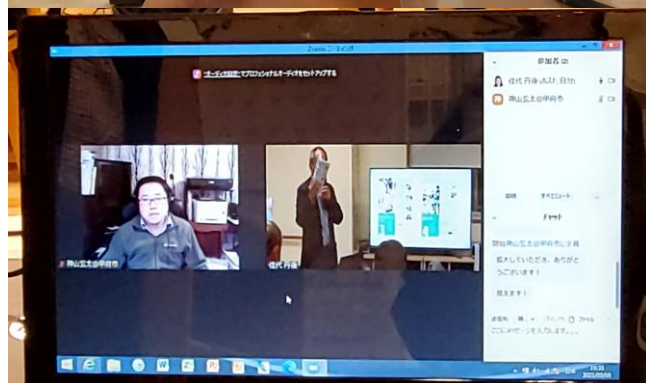
この日、参加いただいた武田ワイズの奥様にご挨拶いただき、ワイズに入会したきっかけなどをお聞きし、改めて、武田ワイズの志の高さを知ることになりました。

その後、山梨YMCA総主事でもある露木会員による卓話「山梨YMCAの今、未来」と題して山梨YMCAのコロナ禍での事業の現状と今後の展望についてお話を聞きました。

卓話終了後、山梨YMCAコミュニティセンター3階大澤英二記念ホール「ベテル」に飾る大きな時計を甲府ワイズより贈呈しました。

ハッピーバースデー&アニバーサリー、諸報告のあと、標会長の閉会の点鐘で、例会終了。退出時に武田ワイズの奥様より、参加者みんなにお土産をいただき、終了した。武田ワイズは生前、いろいろな方にお土産として実家で作っている「ビミサン」を差し上げていたそうです。今回、参加者に配られたお土産は「KALDI」の依頼でご実家で作っていてとても売れていてなかなか手に入らない「旨たれ」をいただきました。

丹後佳代



3月ニコニコBoxメッセージ

大澤祥子

例会に参加でき感謝。つえをつきながら、いつも Y'S の例会に出席しておられた武田信男さんの姿をしのびつつ、3月の例会を有意義に過ごさせていただきました。



YMCA
たより

山梨 YMCA75 周年そして献堂のとき

山梨 YMCA 総主事 露木淳司

5月1日は山梨YMCAの誕生日です。第二次世界大戦終了直後の1946年の設立以来、幾多の歴史の波にもまれながら75年。その間、4度の新会館開設の機会に恵まれました。様々なプログラムが栄枯盛衰を繰り返しつつ、今日の姿に至っています。特に昭和の時代は英語学校を軸に、野外活動、音楽教室、体育教室、つぼみぐる〜ぷなど、児童青少年を対象とする事業がYMCAを支えていました。西暦2010年を超える頃から、事業構造は大きく様変わりを始めます。学童保育の定着拡大、高齢者福祉事業着手、公益財団法人認定、そして児童発達支援事業の台頭。2020年新会館オープン時には保育園がスタートしています。この間、常にYMCAを支え導いてくださったのが皆様のワイズメンズクラブです。バザー、チャリティーランはもちろんのこと、日常的な事業運営においても様々なご支援をいただき、特に会館建設に際しましては、YMCAスタッフだけではどうすることもできない専門的なご指導を賜り、あらゆる面において献身的にご奉仕いただきました。

この歴史の節目にあって、改めて先人たちの偉業を振り返り、ここまでYMCAの歩みを支え導いてくださった方々に感謝の気持ちを伝えるために、創立75周年記念式典を開催します。またコロナ禍で中止していた献堂式も遅ればせながら合わせて実施とさせていただきます。早速、準備委員会が立ち上がり内容を詰めています。日程については当初、創立記念日の5月1日を予定しておりましたが、少しでも感染力が低下することを願いつつ、この日は例年通り早天祈祷会のみ実施とし、式典はその一か月後の6月5日(土)に開催することが決まりました。密を避けるためにリモートでも参加できるよう配慮しての開催となりますので多くの皆様にご参加いただけるよう願っております。尚、今年のチャリティーランは11月27日(土)を予定しています。今からご予定に加えていただければ幸いです。

Happy Birthday

メネット 根津恵美(14日)

Wedding Anniversary

二子石宣秀♡千春(18日) 山崎善当♡明子(29日)
金丸さぶろう♡美香(30日)

新クラブ設立準備報告

仙洞田安宏

甲府駅北口地域のまちづくりをサポートすることを主目的とした新クラブの準備状況を報告します。

2019年5月に第1回準備会を開催、以後原則として月1回のペースで2020年2月(第10回)まで開催して来ましたが、ところが新型コロナウイルスの影響で同年3月から準備会を休止し、様子を見守って来ましたが、感染が少し治まってきた昨年10月に再開し、11月はゲストを含めこれまで最多の10名の参加者を得て開催しました。

しかし、再び新型コロナウイルスの感染拡大で12月から現在まで休止しております。これまで、会則、例会場、例会日、会費、クラブの名称、役員、例会プログラム等を協議して来ましたが、決まったものもありませんが、協議中のもものがほとんどです。

現在会員候補者は7~8名といった所で、上記の諸々の課題をクリアしながら、何とか10名を確保できれば、スタートしたいと思っています。

東日本区大会について(理事通信4月号より抜粋)

新型コロナウイルス感染症終息が見えないことより、今年度の東日本区大会は対面形式に代えリモート形式で実施することになりました。この方針転換に伴い、改めて開催要領をホストクラブと検討を続けており、現時点で概略下記の通りとなっています。詳細が決定次第皆さまにご案内申し上げます。

1. 日時:6月12日(土)13:00~16:30
2. 場所:山梨県甲府湯村温泉郷 常盤ホテル
3. ホストクラブ:甲府21クラブ
4. 開催方法:ハイブリッド、日英同時通訳付
5. 参加登録費:なし

★今月の言葉について★

この言葉の語源は、歌舞伎の楽屋用語と言われておりますが、この言葉については、父親から何度も聞かされた口癖の言葉でした。

私の家は農家で、作業は全て手作業であった為、翌日の農作業の用具類等は前日に全て準備を整えておく必要がありました。

この為、父親は口癖のように「段取り八分」を大切に思っていたのでしょうか、私もこの言葉を大切に思っていますが、準備不足の時もあります。今後も「段取り八分」を心がけて行きたいと思っています。

渡辺徳之

追悼 武田信男さん

長野ワイズメンズクラブ 森本俊子

「僕は元気になりました。」とは 2017 年の年賀状の添え書きの文字です。几帳面な温かみのある文字です。

2016 年 6 月に開催された第 19 回東日本区大会は、長野クラブがホストをさせていただきました。それを遡ること 5 年、2011 年 3 月 12 日、長野県北部県境の栄村は、震度 6 強という大地震に見舞われました。少しでも支援しようと、私たちは復興後初めて収穫された栄村のお米を買おう、売ろうと現地での特別例会を開いたり、評議会や部会の折、支援をお願いしました。この活動に共鳴して下さったあずさ部の皆さんの推挙で、2014 年秋の収穫祭例会の折、当時の渡辺理事からホスト立候補の打診がありました。思ってもみなかったことでしたが、私自身サラリーマン時代に仕事として、ライオンズクラブのリジョン大会の演出をさせていただいた楽しい思い出があったものですからつい「わかりました」と応えてしまったのです。

結果として親クラブとしての甲府クラブはもとより、あずさ部の皆さんにも多大なご助力を強いてしまいました。仙洞田さんには長野クラブの皆よりもはるかに実務をして頂きましたが、その次に武田さんにはご苦労掛けました。打ち合わせ会、下見、リハーサルなど、当時透析のスケジュールを見計らいながらよく通ってくださいました。

栄村の特別例会の折などにそば打ちの為にそば粉を買って帰ろうとかおっしゃる武田さんのことをリタイア組のそば好きなおじさま位に思ったものです。お話を伺うと、放送局の技術マンだったとのこと、系列こそ違え私も同業だったと知り、評議会や部会で甲府を訪れたりすると、メネット道子様とご一緒させていただきました。

冬の栄村例会の時、甲府でも大雪が降り「わざわざもっと大雪の所に行くなんてと笑われたんです」とさりげなくおっしゃったのが印象に残っているとクラブのメンバーが話しておりました。もしかすると、大雪で帰れなかったりしたら、透析のスケジュール上大変なことのなったかもしれないのではないかと後で知ったのでした。

区大会当日救護室の看護師さんによれば、救護室を訪れた方の中で名前が判っているのは武田さんだけだったそうです。それも、お怪我をされたそうで、後になってから知りました。

ステージの進行表を鉛筆書きで、何度も書き直してお持ちくださった姿が忘れられません。

今年も変わらぬ様子で賀詞交換できたのに、まさか天国へ旅立たれたなんて・・・。

本当に残念です。お世話になりました。安らかに眠ってください。



【カタクリの花】

「ダメだ、力がでない、低血压だ」

私はある早朝の農園でうめきました。

「私の高血圧を半分分けてあげようか？」

武田さんは言い返しました！

武田さんを偲ぶとき陽気さとやさしいユーモアを思い出します。

ワイズ活動でも、例会に向かっている車の中でもだじゃれを連発して、気軽な雰囲気を作ってくださいました。

野の花の写真の撮るのが武田さんの趣味でした。

何年か前に武田ご夫妻は私と妻のいづみを奥湯村山のカタクリ群生地へ連れていってくれました。

最近再訪するとカタクリの花は元気に咲いていました。

武田さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

ピーター・マウントフォード

武田さんとは家が近かったこともあり、長野で行われる東日本区大会の準備のため、一緒に車で行くことが度々ありました。私の車で行くときには、「いいねー、運転手付きだ！」と喜んでいただきました。

車の中でも色々なお話をして頂き、道中とても楽しかったです。

まだまだお話を色々お伺いしたかったのに、冗談をもっと聞きたかったのに、とても残念です。

安らかに眠ってください。

丹後佳代



信男君、神様が天国に呼ぶ順序を間違えてしまったみたいで申し訳なく思います。

心から信頼し、頼りにしていた信男君に先に逝かれてしまいました。あと6日で80歳のお誕生日でしたのに残念で仕方ありません。

ワイズメンでの信男君の活躍は、本当に素晴らしかったです。山梨放送で経験した技術と知識を存分に発揮して、甲府や長野で開催された東日本区大会の会場、舞台進行をしっかりと整え奉仕していた姿は格好良く輝いていました。

どんなときにも誠実で、謙虚で、細やかに心配りをしてくれました。優しい人柄が、滲み出ていました。

また、ウィットに富んだユーモアある会話も楽しみでした。

例会に出席できない私のところに、いつもブリテンを届けてくれてありがとうございました。

信男君のそば処「カタクリ」の手作りの美味しいそばの味は忘れません。

ワイズメンにお誘いして良かったです。

ご活躍に感謝します。

また、天国でお会いしましょう。

石原祥平



【2020年10月13日 10月例会】

バザーの時奥様と一緒に元気においでになりましたが、私がお目にかかったのはあの時が最後でした。

今年に入り久しくお目にかからないので気になりつつ電話をしようと思っていた所、訃報の連絡が入りびっくりしました。

3月例会にて道子様より詳細をお聞きして言葉がありました。でした。

信男さま、ご病気大変でしたね。いつも穏やかな笑顔でご挨拶をして頂き心と和みました。

今は苦しみから解放されて神様の御許で地上を見守って下さっている事と思います。

道子様、ご家族のみなさまに神様の御慰めがありますよう、お祈り致します。

田草川 すみ江



【2014年 5月例会】

武田信男君と初めて会ったのは今から 70 年位まえになる。

私は小学校 4 年の時に梨大附属小学校に編入したのだが、その時の学級行事において武田君が真剣な眼差しで演じていた姿が鮮明に思い出される。

20 年位前にワイズの会員増強があり、同級生と無尽をしていた武田君を誘ったところ石原祥平兄の義弟との関係もあり入会しました。

私はその頃から視角障害等のためワイズでの存在感はなくなってしまいましたが、武田君はメディア出身のキャリアを生かし、甲府及び長野での東日本区大会をサポートして多大な貢献をしてくれました。

又富士山クリーン作戦への社会貢献 にクラブを導いてくれました。他数々の行事に積極的に参加しいつも 70 年前と変わらない真剣な眼差しでした。

長い間本当にご苦勞様でした。さようなら

遠藤順彦



【2012年11月長野】

私にとって武田さんと言えば「アイデアマン」というイメージでした。

2002年、私がクラブ会長の時、地域奉仕委員長として「富士山クリーン作戦」への参加を提案して頂きました。この事業は2015年まで続けられました。

また、2005年に甲府クラブがホストした東日本区大会の時に、武田さんから大会旗制作の提案がありました。オリンピックで五輪旗を開催都市の市長が引き継ぐように、東日本区大会でも同様に、というものでした。以後、毎年の大会閉会式でホストクラブの会長さんが引き継いでいます。ちなみに、この旗のデザインは石塚誠さん、製作は石川和弘さんの金生屋さんでした。

甲府や長野(2016年)での東日本区大会では、舞台裏の責任者として大会を成功に導いて頂きました。人工透析をされているお身体でありながら、クラブの様々な行事にも積極的に参加されました。特に、和歌山クラブ(DBC)や長野クラブとの交流を楽しみにされていました。長野クラブの栄村での例会(2014年)には甲府からは武田さんと私の二人が参加しましたが、往復の車の運転を全て武田さんがして、私が何度も「替わります」と言っても頑なに受け付けられない頑固な人でもありました。

ある年のクリスマス例会のオークションで、武田さんお手製のそばを競り落としました。あの時の味は忘れられません。

仙洞田安宏

第8回東日本区甲府大会のリハーサルでは、先頭に立って皆をリード、武田さんが作った図入りの大会進行プログラムが素晴らしかったのは今も記憶に残っています。

長野大会の時も中心になり大活躍されました。

先日知ったのですが、カメラマンの経験が活かしていたのでしょうか。

判らないことを聞くと、何でも丁寧に教えてくださいました。

いつも奥様と仲良く、例会や行事に参加されている姿は大変ほほえましく思えました。

塩部のいちやまマートで奥様とご一緒に買い物をしている時にお会いすることが時々ありました。いちやまに行くと、またお会いできるような気がします。

12月例会の翌日、電話で70周年記念クリスマス祝会の永年継続会員の賞をお届けしたいとお伝えしたとき、次の例会の時に持ってきてくれればと元気に話されていたのですが、それが武田さんとお話した最後になってしまいました。

永い間病気や怪我と闘いながらいつも明るく皆を楽しませてくれた武田さん、本当にありがとうございました。

天国でゆっくりお休みください。

廣瀬 静男



【2016年6月第19回東日本区大会 in 長野】



【2014年12月和歌山65周年】

武田信男ワイズは私の叔父であります。
正しい呼び方はノブオおじちゃんなのですが、私は小さい頃からノブおじちゃんノブおじちゃんと呼んでいました。
ノブおじちゃんは昔からとても優しく、とてもカッコよく、とても面白く、大好きでした。
いつもいつも石原家を支えて頂き、本当に感謝しています。
ありがとうございました。
ゆっくりおやすみください。

石原基平

私が甲府ワイズのクラブサービス委員長の時の話。
恒例の12月クリスマス例会での話です。

私の同級生が参加していた縁も有ったディキシーランド jazz バンドをゲストに迎えた折に、武田さんも旧知のお気に入りのバンドで有った事から、そのクリスマス例会を非常に楽しみに待っていた事、また、その後もお逢いするたびに、あの12月例会は、楽しかったと思い出を語ってくれました。

きっと今は、心行くまで、ディキシーランド jazz を楽しんでいると思います。

秋山仁博



【2019年8月8月例会】



【2009年11月東電葛野川発電所】

甲府クラブがホストした東日本区大会を始めクラブの周年行事等の式典運営でてきぱきと辣腕をふるわれていたお姿や、DBC交流で和歌山への旅で何回かご一緒させて頂いた時のメンの洒脱なお人柄が思い出されます。

「和歌山YMCA30周年記念式」(平成19年12月)に参加した帰りの車中で日本蕎麦の話題で盛り上がり、後日武田宅の『そば処かたくり』で極上そば粉を使った武田メン手打ちのお蕎麦をご馳走になった事も楽しい思い出です。

仕事一筋だったメンが病と向き合いながら Y's と出会い、活動を楽しみに精進されていたと奥様から伺いましたが、本当にお疲れ様でした。

これからも Y's の活動を見守っていて下さい。

貴兄とご一緒できてよかったです。有難うございました。

小倉恵一

武田さんは、私が入会した時からご病気の治療をなさっていたようですが、そんなことは少しも感じさせないくらい元気で、リング狩りも、ゴルフも一緒にさせていただきました。

そのゴルフの終わりに「ああ出来てよかった」と笑顔で話をしましたが、その楽しそうな笑顔は忘れられません。

甲府クラブの会長もぜひお願いしたかったのですが、「その病気の治療を多くの皆さんのおかげで出来ている。その恩返しをボランティアすることで少しでもお返ししたいが、会長以外、出来ることは何でもするから、勘弁して」と言って、その通り最後まで一生懸命に先頭に立って活動してくれました。

多くのことを行動することを通して教えてもらいました。特に最後のYMCAバザーでは、歩くのも辛いようでしたが、最後まで手伝っていただき、後かたづけは、「せめて座っていた椅子だけでもしまわせて」と運んでくれました。見習わなければいけないと思いました。

これからも武田さんの背中を感じながら、ワイズ活動をしていきたいと思っています。

標 克明



【2020年11月山梨YMCAバザー】